



汐見の和

横浜市立汐見台小学校
令和6年5月24日
学校だより 6月号

【学校教育目標】人やものに豊かにかかわり、ともに未来を創る子

電話 045-761-1561 FAX 045-754-6409
ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shiomidai/>



たてわり活動でめざすもの ～豊かなかかわりと人権教育の視点～

学校長 犬塚 真

4月30日の授業参観、5月中旬の個人面談と、保護者の皆様に学校へお越しいただく場面が続きました。ご多用の中をありがとうございました。また、5月16日にはPTA常任委員会が、23日には学校教育ボランティアの説明会が行われました。本年度第1回目の学校運営協議会も5月27日に開催されます。本校の教育活動に多大なお力添えをいただいている皆様に心より感謝申し上げます。

新校舎で新年度をスタートして以来、たくさんの方々が本校を訪れています。4月24日は山中竹春市長の学校訪問もありました。この新しい施設が人々の集う場となり、より豊かな教育活動が展開されることをかねてより望んでいたところですが、今、それが少しずつ具現化されてきていることに喜びを感じています。

子どもたちの方は今年度のたてわり活動が始まったところです。そして、5月29日には全校たてわり遠足も行われ、それに向けた準備をたてわり班のメンバーで進めています。

本校のたてわり活動では、異学年交流を通してよりよい人間関係を築いていくためのコミュニケーション能力を育てるとともに、活動がより楽しくなるように自ら進んで行動しようとする態度を養うことをねらいの一つに置いています。このたてわり活動で期待する子ども同士のかかわりは、例えば、年上の子どもが年下の子どもをいたわり、守るとい



たてわり遠足の相談をする1年生と6年生

こと。また、年下の子どもは年上の子どもに対して感謝し、あこがれるということです。ですが、ずっといたわり、守り続けていたのでは、年上の子どもたちも疲れてしまいます。また、年下の子どもも常に感謝の気持ちを持ち続けられるわけではありません。交流の中の一場面、少しでもそのような言動や気持ちが生まれれば十分なのです。

さて、文部科学省が示すところ（人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕）によれば、人権教育で育成をめざす能力として①コミュニケーションの技能 ②合理的・分析的に思考する技能 ③偏見や差別を見きわめる技能 ④相違を認めて受容できる技能 ⑤責任を負う技能などが挙げられており、こうした諸技能が人権感覚を鋭敏にすると記されています。そして、ここに示されている技能の大半は、人と人とか様々なかかわり合いを重ねる中で育まれ培われていくものです。このたてわり活動でも子ども同士のかかわりをより豊かにし、多くの学びを生み出せるよう、指導・支援に努めていきます。